

新

緑

矢嶋 翼・木村 司・金澤 俊・竹田 秀泰
宇多 春美・板谷 良久・喜多 新二・山谷 芳則



矢嶋 翼
議員

★小学校で使用の副教本・社会科資料集6年に疑念を持ち、①市教委は、この本をチェックせず、学校判断だけで保護者に買わせている、②本の内容が、教科書と非常に類似点が多く、買う必要がない、

③この本は一般市民に販売拒否、④小学校の副教材は85種もあり、4万7千円の代金も保護者負担、⑤今後の副教材選びは、学校独断をやめ、保護者の意見も聞き、余計な負担を取り除くことを改革の柱とすべきと、提案しました。

市教委からは、副教材には指摘の問題点も考えられる。保護者が納得する周知、選定の仕方、本当に必要な物だけを精査選定する改善策を図ると答弁がありました。



木村 司
議員

★苫小牧市新型コロナウイルス緊急経済対策小規模事業者向けパッケージについて質疑しました。1月28日に北海道で、2月22日に本

市で1例目の患者さんが確認されました。市長を始め2月から市内の各団体への影響や実態調査が行われ、国や道の支援策に先駆け、いち早く取り組んでいただけたとに感謝と敬意を表しました。

★補正議案では、中小事業者持続化支援金事業について、国の持続化給付金を貰^もっていることが受給要件となっており、国が大きな網で苦しんでいる事業者を救っている現状から、市はそこから漏れた事業者を救う施策を考えるべきであること、国の2次補正が出た後にはその方向性で検討していただきたいことを要望しました。



金澤 俊
議員

★自殺対策行動計画について質疑しました。委員会では、本市の現状として、10〜30代の死因の第1位が自殺であり、がんよりも上位となっていることも明らかになり、市内の自殺の特徴も示されました。国や北海道の上位法や計画に基づき、本市の地域特性を把握し、そ

自殺対策の重要なポイントとなります。本市の自殺者数はここ数年増減を繰り返していますが、なんとしても自殺者数ゼロを、全市をあげて官民一体となって実現したいものです。



竹田 秀泰
議員

★新型コロナウイルス感染症対策で新たな支援事業としての市の考え方を質問し、市長よりプレミアム商品券発行を検討しており、実施時期や事業内容を早期に固めスピード感を持つて行うと答弁がありました。

★ごみ収集員への新型コロナウイルス感染症対策について質問し、感染防止のために市民へごみ出しマナーの徹底と、ごみ収集委託業者に夏場の熱中症対策に取り組むように協議すると答弁がありました。

★第2学校給食共同調理場改築事業のプロポーザル結果について質疑し、1グループ4社企業体の応募があり、審査の結果評価点が既定の水準に達しているため、優先交渉権者となりましたと答弁がありました。



宇多 春美
議員

★コロナウイルス感染症による子どもへの支援について、学校の長期休業に伴う学力面での不安に対しては、放課後の補習など個人に依じたきめ細やかな指導を各学校に働きかけること、保護者も子どもたちも経験したことのない生活のストレスが、児童虐待に繋がる心配に対しては、子どもたちの心のケアに留意する、また不安や悩みを訴える機会を作り必要に応じてスクールカウンセラーなどの関係機関と連携し、早期発見・早期解決に向けて全力で取り組むと答弁がありました。

地域において、親子に心を寄せ支えてくださる子ども食堂とフードバンクとの連携を求めました。



板谷 良久
議員

★新型コロナウイルスの感染症対策である「新しい生活様式」の普及では、ウイルスと共存するとい